

# 令和7年度 第2回地域授業改善協議会

## ICTの効果的な活用を意識した 授業改善 ～ 生成AIの活用に向けて ～



令和7年7月31日(木)  
竹田教育事務所

# ICTの効果的な活用を意識した授業改善について

## 子どもが主体となってICTを活用

☆各教科や総合的な学習の時間にタブレットを用いて、プレゼンテーションを作成し、発表する。

☆自分で調べたデータを活用し、考えを深めたり、まとめたりする。

## ICTを思考ツールとして活用

☆ロイロノートの思考ツールを使い、考えをまとめて班やグループで考えを共有する。

☆ロイロノートで自分の意見を提出し、提出された意見を共有して、自分の意見と他の人の意見を比較して、自分の考えを深める。

## ICTの効果的な活用を意識した授業改善について

初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン(令和6年12月26日 Ver. 2.0) より

現行の学習指導要領は、**AIの存在を前提**として、生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」といった、社会の変化が加速し、複雑となる**これからの時代に必要な資質・能力**を確実に育成することを目指している。

AI時代を生きる子どもたちが**生成AIをはじめとするテクノロジーをツールとして使いこなし**、一人一人が才能を開花できるようにすることは重要であり、**生成AIの学校における利活用は、そのための助けになり得るものである。**

# ICTの効果的な活用を意識した授業改善について

## 生成AIを段階的に学ぶ

### 【活用のための環境づくり】

- 学校の生成AIに対するリスクについての理解と対策
- 保護者の十分な理解



# ICTの効果的な活用を意識した授業改善について

## 生成AIを段階的に学ぶ

### 【先生】

- ①先生自身がガイドライン等をもとに生成AIの活用法、リスクに対する理解、留意点を学ぶ
- ②先生が体験し、生成AIの特性をつかむ



### 【児童生徒】

- ①生成AI自体を学ぶ（生成AIの仕組み、利便性、リスク、留意点）
- ②使い方を学ぶ（よりよい回答を引き出すためのAIとの対話スキル、ファクトチェックの方法）
- ③各教科の学びにおける活用（授業で児童生徒が活用し、考えを深める）
- ④日常的な活用（普段から使う）



# ICTの効果的な活用を意識した授業改善について

## 生成AIを授業で活用するための段階的な準備として

1 先生が生成AIの仕組みや活用法、リスク、留意点などを理解

2 先生が体験し、生成AIの特性をつかむ

3 先生が児童生徒に指導できる技術を身につける

4 児童生徒が生成AIの仕組み、活用法、リスク、留意点を学ぶ

5 児童生徒が授業で活用する

環境の整備や  
研修機会等の充実